2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社フジオフードグループ本社　　上場取引所　東
コード番号　　2752　　ＵＲＬ　https://fujiogroup.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）藤尾　政弘
問合せ先責任者　（役職名）取締役　　（氏名）藤尾　英雄　　ＴＥＬ　06-6360-0304

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	23,863	0.3	294	△50.1	267	△41.3	21	△61.7
2025年12月期第３四半期	23,796	1.7	589	△48.7	456	△55.4	57	△87.9

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　75百万円（△38.2%）　2025年12月期第３四半期　122百万円（△74.8%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	0.43	ー
2025年12月期第３四半期	1.12	ー

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	20,771	8,642	41.6
2025年12月期	24,429	8,685	35.5

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　8,637百万円　2025年12月期　8,679百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	0.00	ー	3.00	3.00
2026年12月期	ー	0.00	ー		
2026年12月期（予想）				3.00	3.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,653	2.3	510	△29.7	445	△25.2	110	22.3	2.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．８「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	51,299,789株	2025年12月期	51,267,537株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	487株	2025年12月期	74株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	51,282,821株	2025年12月期３Ｑ	51,254,139株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調が続きました。一方で、米国の通商政策を巡る不確実性や地政学リスクの高まり、物価上昇による消費への影響等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、賃上げによる所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等を背景に、外食需要は底堅く推移しているものの、食材やエネルギー価格、人件費の上昇等により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「大衆というカテゴリーで日本一の外食企業となる」という確固たる目標のもと、既存事業の全体的な底上げを行うための商品開発、業態ごとの販売促進キャンペーン活動、店舗におけるサービス力向上を図るための教育・研修体制の強化等を行い、「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂　串家物語」を中心とした全業態の経営成績の向上に全社一丸となって取り組みました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上高238億63百万円（前年同期比0.3％増）、営業利益２億94百万円（前年同期比50.1％減）、経常利益２億67百万円（前年同期比41.3％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益21百万円（前年同期比61.7％減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

＜直営事業＞

直営事業におきましては、国内及び海外において「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂　串家物語」、「麺乃庄　つるまる」、「さち福や」、「天麩羅　えびのや」等の事業展開を行っております。

当事業では、時間帯別売上分析による適切なシフトコントロールによってコスト削減を行うとともに、販売実績のＡＢＣ分析から顧客ニーズを把握し、顧客ニーズに応じた商品開発を行いました。また、季節フェアキャンペーンの推進、既存店舗の美装改装、ＳＮＳやメディアを活用したブランド認知度の向上等、集客力の向上に向けた施策を実施し、全ブランドの既存店の業績改善に努めてまいりました。

以上の結果、直営事業全体の売上高は227億51百万円（前年同期比0.6％増）、セグメント利益は20億32百万円（前年同期比7.8％減）となりました。

＜ＦＣ事業＞

ＦＣ事業におきましては、フランチャイズ加盟企業及び社員独立による営業委託者とのコミュニケーションを図りながら問題点の洗い出し・解消を図り、さらなる集客・売上の向上を目指しております。

当事業では、フランチャイズ加盟開発の強化、現環境に適した業態への変更の提案等を実施いたしました。

また、更なる事業規模拡大に向け、直営店の売却・営業委託を積極的に進め、ストック型のビジネスモデルへの転換も図ってまいりました。

以上の結果、ＦＣ事業全体の売上高は11億12百万円（前年同期比6.7％減）、セグメント利益は８億14百万円（前年同期比6.0％減）となりました。

当社グループの2026年９月末時点の店舗数は682店舗（直営店（国内）387店舗、直営店（海外）５店舗、委託店（国内）74店舗、ＦＣ店（国内）197店舗、ＦＣ店（海外）19店舗）となりました。ブランド別の店舗数は以下のとおりです。

	直営店（国内）	直営店（海外）	委託店（国内）	ＦＣ店（国内）	ＦＣ店（海外）	合計
まいどおおきに食堂	80	2	26	153	6	267
神楽食堂　串家物語	73	－	2	21	2	98
麺乃庄　つるまる	36	－	15	9	8	68
さち福や	34	－	2	6	2	44
天麩羅　えびのや	28	3	2	3	1	37
その他	136	－	27	5	－	168
合計	387	5	74	197	19	682

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は36億58百万円減少し、207億71百万円となりました。

資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末から37億５百万円減少し、固定資産が47百万円増加しております。流動資産が減少した主な理由は、現金及び預金の減少６億51百万円、預け金の減少４億29百万円、信託受益権の減少27億円によるものであります。固定資産が増加した主な理由は、建物及び構築物（純額）の増加１億40百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して36億15百万円減少し、121億28百万円となりました。これは主に買掛金の減少２億13百万円、未払金の減少１億12百万円、借入金の返済による減少31億52百万円によるものであります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、配当金の支払い、譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行等により、前連結会計年度末と比較して42百万円減少し、86億42百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期通期の連結業績予想につきましては、2026年２月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,981	7,329
売掛金	655	705
棚卸資産	196	158
前払費用	262	298
未収入金	200	80
信託受益権	2,700	－
預け金	1,353	923
その他	103	249
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	13,450	9,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,510	3,650
工具、器具及び備品（純額）	290	373
土地	740	740
建設仮勘定	58	19
その他（純額）	69	99
有形固定資産合計	4,669	4,883
無形固定資産		
のれん	1,171	1,098
その他	53	75
無形固定資産合計	1,225	1,173
投資その他の資産		
投資有価証券	417	425
関係会社株式	160	172
繰延税金資産	35	28
敷金及び保証金	3,441	3,348
その他	1,220	1,204
貸倒引当金	△190	△208
投資その他の資産合計	5,085	4,969
固定資産合計	10,979	11,026
資産合計	24,429	20,771

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,611	1,398
１年内返済予定の長期借入金	3,570	1,730
未払金	1,480	1,368
未払費用	612	533
未払法人税等	87	85
未払消費税等	208	220
株主優待引当金	500	493
賞与引当金	3	－
資産除去債務	22	14
その他	383	399
流動負債合計	8,483	6,245
固定負債		
長期借入金	5,200	3,887
リース債務	64	79
資産除去債務	1,082	1,021
預り保証金	222	199
繰延税金負債	173	191
持分法適用に伴う負債	492	492
債務保証損失引当金	18	3
その他	5	7
固定負債合計	7,261	5,883
負債合計	15,744	12,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,971	5,989
資本剰余金	5,149	5,167
利益剰余金	△2,636	△2,768
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,484	8,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106	152
為替換算調整勘定	87	97
その他の包括利益累計額合計	194	249
非支配株主持分	6	5
純資産合計	8,685	8,642
負債純資産合計	24,429	20,771

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	23,796	23,863
売上原価	8,450	8,496
売上総利益	15,346	15,367
販売費及び一般管理費	14,756	15,073
営業利益	589	294
営業外収益		
受取利息	11	16
受取配当金	6	26
持分法による投資利益	1	11
債務保証損失引当金戻入額	－	14
その他	68	55
営業外収益合計	87	124
営業外費用		
支払利息	153	106
支払手数料	8	1
貸倒引当金繰入額	－	20
その他	59	22
営業外費用合計	221	151
経常利益	456	267
特別利益		
固定資産売却益	2	－
投資有価証券売却益	－	98
特別利益合計	2	98
特別損失		
店舗解約損	18	22
固定資産除却損	2	20
減損損失	266	142
支払解決金	－	63
特別損失合計	287	249
税金等調整前四半期純利益	171	117
法人税等	114	96
四半期純利益	57	21
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	57	21

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	57	21
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72	45
為替換算調整勘定	△7	8
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	65	54
四半期包括利益	122	75
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	122	76
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	409百万円	434百万円
のれん償却額	73百万円	73百万円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自2025年１月１日　至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	直営事業	ＦＣ事業	計		
売上高					
まいどおおきに食堂	3,801	－	3,801	－	3,801
神楽食堂　串家物語	5,684	－	5,684	－	5,684
麺乃庄　つるまる	1,262	－	1,262	－	1,262
さち福や	2,479	－	2,479	－	2,479
天麩羅　えびのや	1,588	－	1,588	－	1,588
その他	7,788	－	7,788	－	7,788
ＦＣ加盟金売上	－	132	132	－	132
ＦＣロイヤリティ売上	－	566	566	－	566
ＦＣイニシャル売上	－	78	78	－	78
ＦＣランニング売上	－	413	413	－	413
顧客との契約から生じる収益	22,604	1,192	23,796	－	23,796
その他の収益	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	22,604	1,192	23,796	－	23,796
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	22,604	1,192	23,796	－	23,796
セグメント利益	2,204	866	3,070	△2,480	589

（注）１．セグメント利益の調整額△2,480百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「直営事業」セグメントにおいて、当第３四半期連結累計期間に閉店の意思決定がされた店舗及び営業活動から生ずる収益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては266百万円であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自2026年１月１日　至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	直営事業	ＦＣ事業	計		
売上高					
まいどおおきに食堂	3,964	－	3,964	－	3,964
神楽食堂　串家物語	6,236	－	6,236	－	6,236
麺乃庄　つるまる	1,226	－	1,226	－	1,226
さち福や	2,453	－	2,453	－	2,453
天麩羅　えびのや	1,310	－	1,310	－	1,310
その他	7,560	－	7,560	－	7,560
ＦＣ加盟金売上	－	122	122	－	122
ＦＣロイヤリティ売上	－	554	554	－	554
ＦＣイニシャル売上	－	67	67	－	67
ＦＣランニング売上	－	367	367	－	367
顧客との契約から生じる収益	22,751	1,112	23,863	－	23,863
その他の収益	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	22,751	1,112	23,863	－	23,863
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	22,751	1,112	23,863	－	23,863
セグメント利益	2,032	814	2,846	△2,552	294

（注）１．セグメント利益の調整額△2,552百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「直営事業」セグメントにおいて、当第３四半期連結累計期間に閉店の意思決定がされた店舗及び営業活動から生ずる収益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては142百万円であります。